

2013年(平成25年)

11/10

No.1043

東京都トラック時報

昭和43年8月16日 第三種郵便物認可 毎月2回(10・25日)発行 1部 90円(送料別)

機関紙

一般社団法人
発行所 東京都トラック協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-8
(東京都トラック総合会館)

☎(03) 3359-6251 (代表)

☎(03) 3359-4134 (広報部)

《ホームページアドレス》http://www.totokyo.or.jp/

与党議連に燃料高騰対策を訴える

補助金や軽油減税を



同日は、全国から業界の代表約150人が結集し、自民・公明両党の議連・懇話会所属の国会議員に対し、燃料高騰対策などを訴えたものだ。具体的には、燃料高騰対策として①軽油引取税の旧暫定税率の廃止または一時凍結②燃料高騰対策補助金の創設③価格転嫁のための燃料サーチャージ導入促進—を要望。あわせて「地球温暖化対策のための課税特例」還付措置適用や、高速道路料金

「業界要望を実現する会」
全ト協

燃料高騰対策を早急に実現を。全日本トラック協会(星野良三会長と道路運送経営研究会(坂本克己会長・全ト協副会長)は11月5日、「トラック業界の要望を実現する会」を東京都千代田区のザ・キャピトルホテル



の引き下げと大口・多頻度割引の拡充を求めた。冒頭、自民党議連の細田会長と公明党懇話会の

高木陽介幹事長に対し、要望書を提出したのに続き、主催者を代表して星野会長があいさつ。

平成25年秋の叙勲・褒章

東ト協元理事
土屋氏に
黄綬褒章

土屋氏で、東京都トラック協会関係では元理事の土屋喜代子氏(丸武運輸会長)が黄綬褒章を受章した。

国土交通省関係の受章者は叙勲352人、褒章71人・1団体。褒章の伝達式は11月13日に国交省10階の共用大会議室で行われる。

「政府与党で早急に対策を実施してほしい」と求めた(写真真上)。

これに対して、自民党議連の細田会長は「燃料高騰により、特に甚大な被害を被っているのがトラック業界だ。年末までに何とか高騰対策に向けて補正予算措置を講じていきたい」「困難な状況を少しでも改善するよう

頑張りたい」と対策実現への決意を示した(写真真下)。

また、公明党懇話会の高木幹事長も「自民党とタッグを組んで要望が実現するよう取り組み」とした。

こうした与党議連の方針表明に対して、各地域から参集した業界代表から、業界要望の実現を期待する大きな拍手が起こった。

東ト協は、今年6月死亡事故が今年6件目(同事故の「トラック事故速報」は6面)。

警視庁管内における会員関係の死亡事故は今年同日現在で8件と前年同期より1件少ないが、このうち会員一当は6件と1件多い。年末にかけての輸送繁忙期を迎え、注意を呼びかけていただけに、残念な事態となった。

局協運ト

荷主とのパートナーシップ構築セミナー

関東運輸局と関東トラック協会は11月5日、東京商工会議所・国際会議場の加賀全貨物課長が趣旨説明を行い、荷主企業に対して、運送契約の書面化や燃料サーチャージ導入促進などに「格段の理解と協力をお願いする」と要請した。



大高会長



原 局長

書面化・サーチャージ導入 荷主側の理解と協力を

協会(会長)は、特に燃料高騰問題に関して「自助努力だけではとても吸収できるものではない」と訴え、燃料サーチャージ導入について理解を求めた。

国交省の加賀課長は趣旨説明で、今回のセミナーのテーマとして「書面化と燃料サーチャージ導入、荷役作業の安全対策の徹底の3点を挙げた。

その上で具体的に、書面化に関して「適正な条件が設定されるべき事項について、メールやファクスなどのやりとりを励行しようとするもの」とし、燃料サーチャージの導入状況については「協議の段階にも至っていないケースが多数にのぼる」と説明し、荷主側の協力を呼びかけた。

セミナーでは、関東運輸局の奈良和美自動車交通部長が「最近のトラック行政に関する課題、日本PMIコンサルタントの小林真弘氏が「トラック運送業における燃料サーチャージ導入の促進」、また東京労働局の船井雄一郎労働基準部安

全課長が「労働災害防止について、それぞれ説明。奈良部長は、主に書面化の推進について説明し、契約書面に記載すべき最低限の事項(8項目)などをガイドラインで示し、当面、普及定着に取り組む方針を強調。業務実態にに応じて「やりやすい形」で進めてほしいと述べた。また、メールやファクスによる場合は、印紙は不要と説明した。

さらに、今年度内に行う方針の制度改正について、8、9月にかけて実施した実証実験などの結果を踏まえ、「調整しているところ」とした。

小坂氏は、燃料価格高騰への対応について、「自助努力では限界」として、主の事業所構内で多く発生しているとして、連携・協力して防止対策に取り組むよう求めた。

第45回
全国ドラコン
プロドライバー日本一

東京代表の唐木さん

全日本トラック協会主催による平成25年度の第45回全国トラックドライバーバーンコンテストで、東京都代表選手として11部門に出場した唐木春生さん

(日通東京運輸コンテナ事業部・港支部)が総合優勝し、内閣総理大臣賞を受賞した。

第45回全国ドラコンの表彰式が10月28日開催され、唐木さんは出場選手最高の総合得点980点を挙げ、プロドライバー日本一の栄冠に輝いた。

東京都代表選手が総合優勝したのは、平成20年度の第40回大会以来。(関連記事6面)

紙面あんない

国交省、省エネ型トラック運送補助全ト協、功労者表彰の推薦を東ト協、運行管理者試験事前講習会、駐車取締り実態調査に協力を国交大臣、自動車関係功労者表彰

7 5 4 3 2

古紙パルプ含有率80%再生紙を使用

「トラックの日」制定20年余

平成4年に「トラックの日」(10月9日)が制定されて、既に20年以上が経過した。今年もこの「トラックの日」を中心として、全国各地で多彩なイベントや広報・PR活動が行われた。

国民生活や経済・産業活動を支えるトラック輸送の役割や、業界に対する理解と関心を深めてもらうことにより、業界イメージの改善、そして社会的地位の向上を図ることを目的に制定されたものだ。

あるが、こうした地道で継続的な活動が、徐々にではあるが、業界に対するイメージの改善や、親近感をもつてもらうことに役立っているのは間違いない。

その意味で、「トラックの日」の制定とこれを中心とした広報・PR活動は、一定の成果を上げてきたといえる。とはいえ、まだ目論見どおりの成果を上げているわけではない。マンネリ化の問題なども指摘されよう。

燃料高騰に対応するためのサーチャージ導入には、荷主企業などの理解と協力はもちろんだが、社会的にも「当然、導入を補助する。」

外部給電式冷凍・冷蔵システム機器。公募要領などの詳細は、補助金交付の執行団体・パシフィックコンサルタンツのホームページ(<http://www.pacific.co.jp>)に掲載。応募受付は郵送のみ。

▽問い合わせ・応募先
業所用機器のドライブレコーダー機能は対象外。
②の実証事業は、トラック運送事業者などが行う革新的省エネ機器の導入に対して支援を行い、実燃費の改善により、トラック輸送の省エネ化を促進する事業。対象機器は太陽光発電アイドリングストップ機器、または

国土地交通省は11月5日から、平成25年度「省エネ型ロジスティクス等推進事業費補助金(省エネ型陸上輸送実証事業)」に関する間接補助事業の公募を開始した。公募期間は11月19日まで(当日消印有効)。予算額に達し次第、公募を終了する。

同補助事業は、経済産業省資源エネルギー庁との連携により実施するもの。省エネ型トラック運送に係る①「エコドライブ」

交通情報

東名日本坂トンネル補修工事で交通規制

東名高速道路・日本坂トンネル上り線(左ルート)の補修工事に伴い、11月19日午前9時から12月23日午後12時まで(1回目の工事、昼夜連続交通規制が行われる。上り線右ルートは通行可能。また26年1月20日午前9時から2月21日午後12時まで(2回目、同様の交通規制が実施される。



省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型
トラック運送補助

公募期間は11月19日まで

国交省・経産省



省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

省エネ型トラック運送補助
公募期間は11月19日まで
国交省・経産省

【行政処分基準改正のポイント】①

国土地交通省自動車局は、自動車運送事業の監査方針と行政処分基準を改正した。飲酒運転など悪質違反に対する処分を厳格化した平成21年以来的改正。監査方針改正は10月1日、処分基準改正は11月1日から施行。

今回の処分基準改正では、記録類の記載不備など軽微な違反は行政指導(勧告・警告処分)にとどめる一方、重大悪質違反に対しては即、30日間の

事業停止処分(26年1月1日から適用)とするなど厳格化した。改めて法令遵守を徹底する必要がある。運輸など悪質違反に対する処分を厳格化した平成21年以来的改正。監査方針改正は10月1日、処分基準改正は11月1日から施行。

具体的には、①交替運転者の未配置5件以下、②点呼記録、乗務記録、運行記録計の記録、指導監督に係る記録、および点検整備記録簿の改正など、初違反の3倍だったが、2倍に引き下げられた。

また、新たに自動車検査証の備え付け義務違反に対して、警告処分が課されることになった。なお、再違反の基準日数はこれまで、初違反の3倍だったが、2倍に引き下げられた。

(次回は「事業停止処分」の改正内容について)

エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS

NGVを選ぶことが
地球の未来を変える。

- 天然ガスを燃料とするNGV(天然ガス自動車)は、燃料多様化によりエネルギーセキュリティに貢献
- 天然ガスの可採年数は250年程度(出典: IEA World Energy Outlook 2011)
- 天然ガスは燃やしてもSOxや黒煙を発生しないクリーンなエネルギー

東京ガス株式会社 NGV事業部 〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20 TEL.03-5400-6772 <http://eee.tokyo-gas.co.jp/ngv>



おかげさまで
40000台突破

日本の天然ガス自動車普及台数は、4万台を突破いたしました。(平成23年3月末)



トラック運送事業および運送取扱事業の役員

表彰の種類と推薦基準

(1)感謝状

全日本トラック協会が表彰規程による表彰が行われます。同表彰基準の該当者がありましたら、所属支部を通じて、12月6日までに東ト協本部へ推薦してください。

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

全ト協・功労者表彰

対象者の推薦を!

全日本トラック協会が表彰規程による表彰が行われます。同表彰基準の該当者がありましたら、所属支部を通じて、12月6日までに東ト協本部へ推薦してください。

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

顕著な功績が認められる者

グリーン購入ネットワーク

グリーン購入ネットワーク(GPN)が10月、荷主や運送事業者を対象に「輸配送シンボルマーク」の運用を開始した。8月にGPNが制定した「輸配送契約ガイドライン」に基づき、環境への取り組みをアピールする仕組み。環境経営または燃費対策で第三者評価を得た運送事業者や、そうした事業者と運送契約を結んでいる荷主に、シンボルマークの運用が認められる。

輸配送シンボルマーク運用開始

GPNは、東京都が貨物運送事業者のCO₂削減努力を定量的に評価・公表する「貨物輸送評価制度」を創設したのをきつかけに、輸配送分野におけるグリーン購入のガイドラインづくりに取り組んできた。

荷主が、こうした第三者評価を受けた事業者と優先的に運送委託契約を結ぶことで、温室効果ガスの削減に貢献できるとみられた。

GPNは今年8月に、輸配送契約ガイドラインを制定。その中身は、第三者評価を受けた運送事業者の情報を、GPNの「エコ商品ねっと」への掲載条件は、トラックを保有する実運送事業者で、「環境経営」または「燃費取組」に関し第三者評価を受けていること。

「環境経営」ではISO14001、グリーン経営認証、エコアクション21などの取得が条件。「燃費取組」は、東京都の「貨物輸送評価制度」

「エコ商品ねっと」掲載が条件 ガイドラインの普及を後押し

による評価事業者をはじめ、東京都トラック協会の「グリーン・エコプロジェクト」に1年以上参加している事業者、「J-クレジット制度」を通じて燃費向上によるCO₂排出量の削減でクレジットを創出した事業者などが対象。

車両1台ごとに燃費を測定し、荷主の要求に応じて情報を提供できることが要件だ。

「環境経営」と「燃費取組」のいずれかの条件を満たせば掲載が可能。ただし、事業者をA・B・Cの3つのタイプに分け、両方で第三者評価を受けた事業者を「タイプA」とした。

GPNは9月末に「エコ商品ねっと」で情報公開を開始。10月8日現在、12社が掲載している。

さらに10月から「輸配送シンボルマーク」の運用をスタートした。輸送の環境負荷低減に努める運送事業者や、輸配送のグリーン購入に取り組む荷主を評価するマークだ。

「エコ商品ねっと」に掲載された運送事業者はシンボルマークの使用が認められる。

また荷主については、ガイドラインによつて示された輸配送に関する環境対策のチェック項目のうち、6割以上を実施している、しかも「エコ商品ねっと」に掲載された事業者と運送契約を結んだ。

GPNでは地域ネットワークによる会員向けのセミナーなどを通じ、輸配送シンボルマークの認知度を高めていく考えだ。

(ジャーナリスト 巴未希)

「正しい運転・ 明るい輸送運動」 表彰に推薦を!

全ト協は、第53回「正しい運転・明るい輸送運動」実施期間中(平成25年11月16日〜26年1月10日)

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当する

NASVA 安全マネジメント 講習会(基礎編)

自動車事故対策機構(NASVA)東京主管支所は、平成26年1月10日に第3回「NASVA安全マネジメント講習会」(基礎編)、2月6日に第4回講習会を開催

自動車事故対策機構(NASVA)東京主管支所は、平成26年1月10日に第3回「NASVA安全マネジメント講習会」(基礎編)、2月6日に第4回講習会を開催

自動車事故対策機構(NASVA)東京主管支所は、平成26年1月10日に第3回「NASVA安全マネジメント講習会」(基礎編)、2月6日に第4回講習会を開催

自動車事故対策機構(NASVA)東京主管支所は、平成26年1月10日に第3回「NASVA安全マネジメント講習会」(基礎編)、2月6日に第4回講習会を開催

自動車事故対策機構(NASVA)東京主管支所は、平成26年1月10日に第3回「NASVA安全マネジメント講習会」(基礎編)、2月6日に第4回講習会を開催

自動車事故対策機構(NASVA)東京主管支所は、平成26年1月10日に第3回「NASVA安全マネジメント講習会」(基礎編)、2月6日に第4回講習会を開催

日通総研・企業物流短観

7~9月荷動き指数 2年振りのプラスに

日通総合研究所の「企業物流短期動向調査」(9月調査)結果によると、7~9月実績(見込み)の国内向け出荷量「荷動き指数」はプラス7で、前期(4~6月)より16ポイントも上昇し、2年振りにプラスに浮上した。

輸送機関別「利用動向指数」をみると、一般トラックがプラス4で前期より11ポイント上昇し、23年1~3月以来のプラス。特別積合せトラックもプラス4で16ポイント上昇し、22年10~12月以来のプラスに転じた。宅配便は前期より8ポイント上昇したが、マイ

日通総合研究所の「企業物流短期動向調査」(9月調査)結果によると、7~9月実績(見込み)の国内向け出荷量「荷動き指数」はプラス7で、前期(4~6月)より16ポイントも上昇し、2年振りにプラスに浮上した。

日通総合研究所の「企業物流短期動向調査」(9月調査)結果によると、7~9月実績(見込み)の国内向け出荷量「荷動き指数」はプラス7で、前期(4~6月)より16ポイントも上昇し、2年振りにプラスに浮上した。

日通総合研究所の「企業物流短期動向調査」(9月調査)結果によると、7~9月実績(見込み)の国内向け出荷量「荷動き指数」はプラス7で、前期(4~6月)より16ポイントも上昇し、2年振りにプラスに浮上した。

カメラは見ていた。その瞬間を!

YAZAKI

ドライブレコーダー

を付けてみませんか?

ご希望がございましたら、ご連絡下さい。

矢崎エナジーシステム 特約販売店

世田谷サービス株式会社

本社 03-5727-1600

板橋(営) 03-5916-3557

ホームページ http://www.setagaya-yss.co.jp

E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

10月9日は 「トラックの日」

が担う役割をアピールするとともに、交通安全を呼びかけた。翌13日には、町立富士中学校で開催された町民体育大会に参加し、PR活動を行った。

●

■10月19・20日(土・日)
【板橋支部】
(野地昭雄 支部長)
第42回「板橋区民まつり」に参加し、区立板橋第一中学校を会場とした

■10月12・13日(土・日)
【八丈島支部】
(秋田捷 支部長)
10月12日、底土海岸桟橋前に「10月9日はトラックの日」とPRする横断幕を付けたトラックを並べ、フェリーで到着したばかりの来島者や島民に、ウェットシートやハン



八丈島支部



板橋支部



港支部



練馬支部

■10月20日(日)
【練馬支部】
(三津橋洋行 支部長)
第36回「練馬まつり」に参加し、区立南町小学校で開催された第3回「ねりま・エコスタイルフェア」にブース出展。あいにくの雨天だった

が、ブース内には協会事業を紹介したPR用パネルを展示するとともに、来場者に本部ノベルティのウェットシートや、支部で用意したボールペン、ウェットティッシュなどを配布し、「トラックの日」をPRした。

「買い物と交流の広場」にブース出展。ブースには「10月9日は緑ナンバー「トラックの日」」の看板を掲げてPRするとともに、交通事故に遭わないように気を付けてもらおうとの趣旨から、来場の大人には反射バグ、子供たちには自転車反射材(LEDスポーク

■10月20日(日)
【港支部】
(樋口恵一 支部長)
支部主催の「トラックの日フェスタ in 芝公園」には、あいにくの雨天にもかかわらず、多くの都民が来場。東日本大震災

被災地の復興支援を目的にJ A東西しらかわ、茨城県、南三陸ミシン工房などが屋台を出店し、お楽しみ抽選会では地元の名産品をプレゼント。警察署の協力による交通安全教室や生バンド演奏、トラックの展示など、盛りだくさんの内容で実施した。



PCセミナーを開催

東ト協

東ト協は10月8・9日(A日程)と10・11日(B日程)の各2日間、東ト総合会館で会員事業者を対象にしたパソコンセミナーをそれぞれ開催した。

事業経営の効率化推進のためには、今やITの活用が不可欠になっていることから、ITスキル向上を目的として実施しているもの。

セミナーでは参加者1人1台のパソコンを用意し、2日間コースでエクセルやパワーポイントの操作・活用方法について、基礎から初・中級レベルまでのレッスンを実施。実際に会社の管理データやプレゼンテーション資料の作成などを行うとともに、タブレット端末によるITの活用方法などについても研修した。

今年度第2回受験者対象に

運行管理者試験 事前講習会

26年1月19日/26年2月6日

東ト協

東京都トラック協会は平成26年1月と2月に、25年度第2回運行管理者試験(貨物、26年3月2日)の受験予定者を対象に「運行管理者試験事前講習会」を開催する。受講料は無料。

保有車両5台未満の事業者に対して運行管理者試験事前講習会を開催する。時間は各日とも午前9時30分から午後4時30分まで。

【受講申し込み期間】①の講習会Ⅱ今年12月16、26日Ⅱ②の講習会Ⅱ26年1月20、30日。申し込み



講習は「運行管理者試験」貨物講習テキスト(25年度改訂版)(日通総合研究所発行、1部・税込1050円)を使用している。

このため、このテキストを所持していない人は個別に調達するか、または受講申し込みの際に、テキスト購入を申し込めば、講習当日の受付時に代金と引き換えで入手できる。

なお、8月の講習会で使用したテキスト、および「運行管理者試験(貨物) 受験対策問題集」とは異なるため、要注意。申し込み方法は「運行

管理者試験事前講習会申込書兼受講票」に記入の上、FAX送信する。

▽問い合わせ・申し込み先Ⅱ東ト協運行管理部(03・3359・3618、FAX 03・3359・4983)。

東ト協は会員サポート事業の一環として12月6日、労働基準法関係の「トラック運送事業における監督指導の結果と問題点」をテーマに、労働対策講習会を開催する。

時間は午後1時30分から3時まで。会場は東ト総合会館7階大会議室。定員は120

労務対策講習会

12月6日開催

「監督指導の結果と問題点」をテーマに。受講申し込みは支部連絡部へ(先着順、11月29日締め切り)。結果と問題点」をテーマに、労働対策講習会を開催する。

時間は午後1時30分から3時まで。会場は東ト総合会館7階大会議室。定員は120

協会 日誌

【10月16・31日】

16日 ロジ研温故創新セミナー(20日)▽海上コンテナ専門部会定例役員会▽街頭検査▽資材燃料委員会▽グリーン・エコプロジェクトセミナー(18日)

17日 東京都・新島村合同総合防災訓練▽引越専門部会引越管理講習▽サポート事業(17日)

日程ボード

【11月16・30日】

17日(日) 8時30分Ⅱ女性経営者研修見学会(愛川ソラーパーク)ぎんてらすTOBISHIMA、(18日)

19日(火) 15時ロジ研正 26日(火) 16時30分Ⅱ食糧

22日(金) 正午Ⅱ正副会長会議(東ト総合会館) 12時30分Ⅱ取扱事業・積合専門部会研修会(ブリヂストンTODAY)▽14時Ⅱ地域連絡協議会(東ト総合会館)▽16時30分Ⅱ三組

27日(水) 15時Ⅱ出版・印刷・製本・取次専門部会出版物関係輸送懇談会(東武ホテルレバント東京)

28日(木) 17時Ⅱ青年部研修会「オープン研修」(東ト総合会館)

18日 東京都・新島村合同総合防災訓練参加者説明会

24日 正副会長会議▽三組連合会▽関東ブロック適正化事業指導員研修会

25日 関東協青年部研修見学会▽運賃問題検討委員会▽サポート事業

21日 東ト協チャリティゴルフ大会▽グリーン・エコプロジェクトセミナー(22日)

28日 事務局部長会▽青年経営者研修会▽同交流会▽サポート事業

30日 指導監査▽福利厚生対策事業研修会▽関ト協海上コンテナ部会

22日 事務局部長会▽福利厚生事業検討小委員会▽サポート事業(23日)

23日 物流経営士課程開講式▽同記念講演▽事故防止委員会正副委員長会議▽適正化事業実

正副部会長・監事合同会議▽サポート事業

23日 物流経営士課程開講式▽同記念講演▽事故防止委員会正副委員長会議▽適正化事業実

23日 物流経営士課程開講式▽同記念講演▽事故防止委員会正副委員長会議▽適正化事業実

23日 物流経営士課程開講式▽同記念講演▽事故防止委員会正副委員長会議▽適正化事業実

新会員

【港支部】

◆株式会社マンハッタ ンサービスⅡ港区海岸3の24の12▽03・5765・6715▽一般貨物(普通車1台、小型車5台、軽貨物車1台)

◆大久保興業株式会社 Ⅱ府中市天神町3の11の1の202▽042・379・1001▽一般貨物(普通車6台)

◆株式会社小高商事Ⅱ 荒川区町屋4の36の8▽03・3895・226

【多摩支部】

◆M・Dトランスポート 株式会社Ⅱ青梅市新町8の3の5▽042・8・78・0851▽一般貨物(普通車9台)

◆三橋 一郎氏(ミツハシ運輸梱包サービス社長・目黒支部11月4日くも膜下出血のため死去。告別式は同日11日にそれぞれ渋谷区西原の代々幡斎場。喪主は妻・清枝さん。

お悔やみ
申し上げます

東ト協は10月30日、東ト総会館で平成25年度の福利厚生対策事業研修会を開催した。同日は、交通事故防止の上で重要となる生活習慣病の予防対策や、高齢者の継続雇用への対応などについて研修した。

冒頭、労務厚生委員長の水野功副会長があいさつ。「ドライバーの健康管理と労務管理は業界の重要な問題」と指摘し、適切な対応を求めるとともに、東ト協が実施している電話健康相談の活用を呼びかけた。

研修会では、管理栄養士でベネフィットワン・ヘルスケアの田中晶子氏が「プロドライバーのため

東ト協

福利厚生対策事業研修会



の生活習慣病対策―生活習慣病予防に向けたポイントと具体策―、社会保険労務士でグローアップ・本重信氏が「トラック運輸業の実情・実態、Q&A―継続雇用の留意点と賃金制度等の検証―」と題して講演。

田中氏は、日本人の死因の約54%は、心疾患や脳血管疾患など生活習慣病に起因するものとし、特に運輸業界のドライバーは高血圧や高血糖値の人が多く、適切な予防対策が必要と強調した。

生活習慣病対策について「標準体重を大きく超えている場合は、5〜10%の減量を優先しなければならぬ」と説明。また標準体重以内でもバランスの良い食事と、有酸素運動・筋力トレーニングやストレッチなどをすることが重要とアドバイス。

岡本氏は、今年4月施行の「高齢者雇用安定法」と「労働契約法」の改正内容について解説。60歳以

生活習慣病予防対策テーマに

降の継続雇用については、原則として雇用対象が希望者全員に拡大され、また有期労働契約が5年を超えた場合、労働者の申し出により無期労働契約に転換できるようにになった。これに伴い、継続雇用者を無期労働契約へ転換した場合、その契約を解除するに当たっての留意点について説明した。

また、割増賃金対策について説明し、適切に労働時間管理を行うとともに、実労働時間に対して適法な割増賃金が支払われているかなどを、チェックしておく必要があるとした。

第1回 青年部研修会

11月28日に開催

東ト協は11月28日、平成25年度第1回青年部研修会（オープン研修）を開催する。時間は午後5時から6時30分まで。会場は東ト総会館4階会議室。参加費は無料。

今回の講師はプロデューサーの高柳勝二代表取締役で、「運送会社の管理者に期待されている役割〜ルールを守るドライバーを育てる〜」をテーマに講演する。

オープン研修会として青年部会員のほか、ロジスティクス研究会・女性部会員も参加可能。

参加申し込み期限は11月21日まで。「参加申込書」に記入の上、東ト協教育研修部にFAX送信する。

【問い合わせ・申し込み先】

東ト協教育研修部

☎ 03・3359・4137

FAX 03・3359・6020



講演では、今年4月に入社したばかりの、修行告・連絡・相談をするなど、人間として当たり前のことを謳っているだけだが、これを実践することが一流の職人を育てることになる」と指摘。

人材育成は、技術よりも人間性を高めることが重要とし、「モノを運ぶことの重要性を従業員に教えることが大事。プロとしてお客さまを感動させることを理解させなければならぬ」と強調した。

東ト協 輸送委員会

駐車取締り 実態アンケート調査にご協力を

東京都トラック協会輸送委員会（天野智義委員長）は、平成25年度の駐車違反取り締まり実態などに関するアンケート調査を実施する。各支部を通じて、全会員事業者を対象に行う。

回答は 11月29日までに



調査内容は、各会員事業者が駐車違反取り締まりを受けた事例（道路・場所や車種を離れていた時間・距離および理由など）、実施している対応策（助手の配置や有料駐車場の利用、集配ルート変更など）と対策にかかる費用、特に取り締まりが厳しい地域、駐車規制に関する意見、要望など。

また各支部に対しては、最近1年間における駐車対策への取り組み状況および地域の区市町村や警察、商店街などによる具体的な対策の事例などについて調査する。

東ト協では駐車規制の強化により、円滑な集配業務の遂行に支障を来す状況が続いていることから、再三、東京都や都議会、警視庁などに対して駐車規制の緩和とともに、営業

場所の確保や施設整備促進などを要望している。

こうした要望の実現に向けて、継続的に取り締まり実態などについて調査・把握しているもので引き続き、今回の実態調査結果を踏まえ、駐車規制の見直しなどを働きかけていく方針。

アンケート調査の回答期限は11月29日。

今後の駐車対策推進のための基礎資料となることから、期限までに回答を運行管理部業務課あてにFAX送信するよう、協力を呼びかけている。

▽問い合わせ・回答先
東ト協運行管理部業務課（☎ 03・3359・6257、FAX 03・3359・4983）。

第33回 安全運転競技会 事故撲滅へ運転技能を競う

江戸川支部



開会に当たり、今井自動車教習所の石井清壽社長（小松川交通安全協会副会長）に続き、主催者を代表して江戸川支部事故防止委員会の仲嶺真榮委員長があいさつ。「最近トラックによる事故が多発し、協会本部でも事故防止の取り組みを徹底しているところ。運転者の皆さんの協力がなければ、事故ゼロは達成できない」と事故防止の徹底を呼びかけた。

また、来賓として小松川交通安全協会の彦田昌昭会長（東ト協副会長）があいさつし、「日頃の運転

を振り返り、基本に戻って競技に臨んでほしい」と激励した上で、「年末にかけて事故が多くなる時期。一層、気を引き締めて無事故運転を心掛けてほしい」と述べた。

競技では左折・進路変更・S字コース・一時停止・バック間隔（大型・小型）縦列・クランクなど

の走行技術をはじめ、法規履行、安全確認について、日頃の運転技術を競い合った。

競技終了後、小松川署交通課の末吉研交通総務係長が、安全運転の励行

について講話した。

競技の結果、大型の部では加納明さん（東重物流）が優勝し、2位は竹内義則さん（アベニコ・ポーレーション）、3位が田中里美さん（つるとみ運輸）、特別賞（4位）は木島伴幸さん（明神運輸）。また、小型の部では水谷友明さん（天山運輸）が優勝し、2位は中尾慎司さん（盛運）、3位が佐々木健太さん（勝己運輸）、特別賞（4位）は服部大吾さん（島村運輸倉庫）だった。

安全講話の後、上位入賞者の表彰が行われ、表彰状と副賞が贈られた。

東ト協は、12月12日から14日まで東京ビッグサイトで開催される国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2013」（第15回）に、グリーン購入ネットワーク（GPN）の会員として共同出展し、「グリーン・エコプロダクト」（GEP）事業の取り組みについて展示・紹介する。

東ト協GEPは「環境ラベル活用ゾーン」に共同出展し、継続的なエコドライブ活動の推進により、燃費向上

東ト協

青年経営者研修会

人間性重視の人材育成を

東ト協は10月28日、東ト総会館で平成25年度青年経営者研修会を開催した。秋山木工の秋山利輝代表取締役が「職人として大事なのは、技術で育てもすぐに辞めたくない」といった問題に「磨く魂の人材育成」と題して講演した。

冒頭、青年部の武井成のヒントを得て、会社

を振り返り、基本に戻って競技に臨んでほしい」と

に、グリーン購入ネットワーク（GPN）の会員として共同出展し、

や交通事故防止などで成果を上げ、「エコ商品ねつ」との輪配送（貨物自動車）部門における認証事業としてPRする。

事故防止緊急対策 実施中!!

トラック事故速報 死亡事故

問い合わせ先: 東京都トラック協会 運行管理課 ☎03-3359-3618

交差点右左折時は、横断歩道手前で必ず「一時停止」し、指差し呼称による左右の安全確認を徹底すること!!

日時	10月29日(火) 5時48分頃発生
場所	江東区内(区道)
当事者	事業用大型貨物車(のり代前折) × 歩行者(男性50歳代)
状況	江東区 潮見 潮見駅方面から潮見駅方面へ右折する際、左方から横断歩道上を横断してきた歩行者と衝突したものの。
概要	事業用大型貨物車は、区道の信号機のある交差点を明治通り方向から潮見駅方面へ右折する際、左方から横断歩道上を横断してきた歩行者と衝突したものの。



第45回 全国トラックドライバー・コンテスト表彰式
後援: 内閣府・国土交通省・警視庁・自動車安全運転センター・一般財団法人 全日本交通安全協会・一般財団法人 日本自動車整備協会
主催: 公益社団法人 全日本トラック協会
協賛: 株式会社 フリヤストン

東京都代表選手が総合優勝

また、国土交通大臣賞(中小企業出場選手で総合第1位)は4部門優勝の倉本さん、全ト協会長特別賞(50歳以上のシニア選手で総合第1位)は11部門出場の国本英俊さん(アシニア本社営業所、長崎代表)が受賞。

表彰式では、各部門上位5位までの入門上位5位までの入賞者には星野良三会長から全ト協会長賞、各部門優勝者には警察庁の濱勝俊長官官房審議官から警察庁長官賞・全ト協会長賞(連名)が贈られ、総合優勝の唐木さんに対しては国土交通省の大臣靖彦大臣官房審議官から、内閣総理大臣賞が授与された。

なお、各部門優勝者には協賛のブリヂストンから海外派遣賞、また事業所表章として各部門優勝者所属の事業所に国交大臣賞、上位5位までの入賞者所属の事業所に全ト協会長賞が贈られた。

表彰式では冒頭、星野会長が主催者あいさつし「職場あるいは地域社会の中で、交通安全の模範的なドライバーが「積極的な運転知識・技能を持つプロのドライバーが、積極的に安全運転を実施し、事故防止の原動力になることを期待する」と述べた。

全日本トラック協会は10月26・27日、茨城県ひたちなか市の自動車安全運転センター安全運転中央研修所で第45回全国トラックドライバー・コンテストを開催し、同28日に東京都千代田区のスクワール麹町で表彰式を行った。

今大会には全国で約1400人が参加し、全国大会には各都道府県から選抜された131人(うち女性17人)が出場。競技は4部門・11部門で行われ、女性4部門で行われ、学科(交通法規・構造)と実科競技(運転技能・点検)を行い、プロドライバー日本一を競った。

競技の結果、東京都代表として出場した日通東京運輸コンテナ事業部所属の唐木春生さんが、11部門で優勝するとともに各部門を通じて総合得点第1位(980点)となり、内閣総理大臣賞を獲得した。

唐木さんは、昨年の東京都トラック協会第33回ドライバー・コンテストでは11部門第3位だったが、今年は同部門で優勝し全国大会に出場、日本一の栄冠を手

全ト協 第45回 全国ドラコン

安全運転の知識・技能競う

にいた。11部門以外

の優勝者は、4部門が倉本健一さん(鳴海急送愛知営業所、愛知代表、976点)、トレーラ部門が藤田博道さん(日本通運福山支店、広島代表、973点)、女性部門が東真由美さん(日本通運倉敷支店引越・物流センター事業所、岡山代表、920点)。

また、国土交通大臣賞(中小企業出場選手で総合第1位)は4部門優勝の倉本さん、全ト協会長特別賞(50歳以上のシニア選手で総合第1位)は11部門出場の国本英俊さん(アシニア本社営業所、長崎代表)が受賞。

表彰式では、各部門上位5位までの入門上位5位までの入賞者には星野良三会長から全ト協会長賞、各部門優勝者には警察庁の濱勝俊長官官房審議官から警察庁長官賞・全ト協会長賞(連名)が贈られ、総合優勝の唐木さんに対しては国土交通省の大臣靖彦大臣官房審議官から、内閣総理大臣賞が授与された。

なお、各部門優勝者には協賛のブリヂストンから海外派遣賞、また事業所表章として各部門優勝者所属の事業所に国交大臣賞、上位5位までの入賞者所属の事業所に全ト協会長賞が贈られた。

表彰式では冒頭、星野会長が主催者あいさつし「職場あるいは地域社会の中で、交通安全の模範的なドライバーが「積極的な運転知識・技能を持つプロのドライバーが、積極的に安全運転を実施し、事故防止の原動力になることを期待する」と述べた。



違反別 営業用トラック関与の交通事故 (平成25年9月末)

		安全不確認	前方不注意	交差点安全進行	歩行者妨害	一時停止	ハンドルブレーキ	信号無視	徐行違反	右左折	その他	計
大型	1当件数	109	101	31	5	0	24	7	0	1	67	345
	関与事故件数	117	101	35	5	0	24	8	0	1	112	403
	(前年比)	+4	+19	-7	-11	±0	+2	+1	±0	±0	+3	+11
中型	1当件数	224	227	100	28	4	38	17	1	0	145	784
	関与事故件数	234	231	118	28	4	38	17	1	0	302	973
	(前年比)	+4	+17	+13	-11	+2	-6	-1	+1	-1	-64	-46
普通	1当件数	277	209	174	32	12	42	14	1	4	151	916
	関与事故件数	288	212	201	32	12	43	14	1	4	419	1,226
	(前年比)	-55	+12	-26	-7	±0	-6	-2	+2	-57	-141	-141
合計	1当件数	610	537	305	65	16	104	38	2	5	363	2,045
	関与事故件数	639	544	354	65	16	105	39	2	5	833	2,602
	(前年比)	-47	+48	-20	-29	+2	-10	-2	+1	+1	-118	-176
死者数	大型貨物車(1当)	2	1	1	1	0	3	1	0	0	0	9
	中型貨物車(1当)	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	4
	普通貨物車(1当)	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3

注: 営業用貨物車の関与事故件数とは、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。

※ 表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。

営業用トラック関与の交通事故の特徴

「青だけど 車は私を見てるかな」

平成25年9月末現在の都内全域の交通事故発生件数(本年累計)は3万931件で、前年同期比3,886件減少し、死者数は109人で同11人の減少となった。

営業用貨物車の関与事故(「違反別」表の下段「注」参照)発生件数(本年累計)は、2,602件で同176件減少し、死者数は16人で同5人の増加だった。

事故類型別では、右左折時の車両相互事故が321件で同5件の減少で、死者数は4人だった。

違反別では、安全不確認による関与事故が639件と最も多く、前方不注意に関する違反が同48件増と大幅に増加している。

関交協の自動車共済

自賠責 + 自動車共済

セット契約割引実施中!!

詳しくは、関交協・営業推進部

☎03-5337-1753



トラックの自動車事故損害賠償と交通事故防止

関交協

関東交通共済協同組合

セット契約

自賠責共済

+

自動車共済



自動車共済の掛金が割引になります!



関交協

検索



北代省三氏。晩年はもっぱら模型飛行機作り。1976年には模型飛行機入門』を出版した(斉藤さだむ氏撮影)。



「芸術を理解できなくて、世の中に楽しいことはたくさんあります」と、北代省三さんは『画家から写真家へ』の中で書いています。「スポーツカーを思い切りとばすこと、自分で操縦桿を握り、軽飛行機を操縦して」。

川崎市岡本太郎美術館の「かたちとシミュレーション 北代省三の写真と実験」を見てみると、これは、北代さん自身のアートに対するスタンスを見事に解き明かしている、と思われるので



模型飛行機が飛ぶメインホール

素朴な鑑賞報告〔2〕

「画家から写真家へ」北代省三の軌跡

——川崎市岡本太郎美術館——



自作カメラとこのカメラで撮った写真

北代さんは、1921年東京生まれ。税関長の父の赴任先、大連で過ごした少年時代は、飛行機や船の絵を描き、模型作りに熱中。21歳で陸軍に徴召。技術将校として終戦を迎えます。

戦後、画家を目指し、岡本太郎さんに「お前の絵はなんとも下手くそなところがある。俺は上手すぎて困っているのだ」とほめられます。

また、先輩の画家に、「君はたいへん器用だね、しかし、その器用さのために今にきつと苦労しますよ」と。その言葉の通り、北代さんは、デザイナー、モビール彫刻家、舞台装置家として器用に活躍を始めます。

1951年、滝口修三さんを中心に武満徹さんなど若手のアーティストが集まる「実験工房」に参加しますが、56年、「抽象絵画は私のリアリティーを表出する言葉ではなくて、自己の表現」として写真家へと転向します。

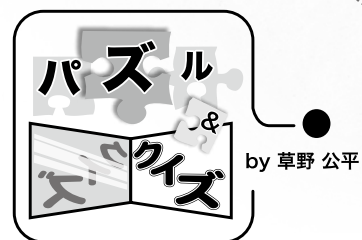
時代は高度成長に向かつてエンジンがうなりを上げて、加速を始めたころでした。それにつれて、コマース写真も隆盛の期を迎えたのです。北代さんは、日本初の産業写真家として、食品からエレクトロニクスまで、雑誌のグラビアでは「未知のビジョン」と題して合成や超接写、超広角、超高速シャッターではワイナグラスが割れるシーンなどを撮影、八面六臂の活躍ぶり。

しかし、1970年の大阪万博の撮影で半年間かきりきりになるうちに、高度成長への疑問が生じ、「お金をかけて何でこんな馬鹿馬鹿しいことをやるんだらう」とコマース写真から遠ざかっていきます。そして、「このろのページ」など初期のナイーブな写真に回帰していき、それが、それさえ捨てて、子供の頃からの夢、模型飛行機作りで没頭していくのです。

激動・沸騰の60、70年代に思いをはせながら、時代と共に生きた非アーティスト、北代省三を抱きしめたいような「写真と実験」展でした。

【「かたちとシミュレーション 北代省三の写真と実験」展】2014年1月13日まで 川崎市岡本太郎美術館 住所：川崎市多摩区枋形 生田緑地公園内／☎044-900-9898 入場料：一般900円 大学・高校生、65歳以上700円 中学生以下無料 ◆2014年1月11日(土) 大日方欣一氏の講演など(無料)

オリンパス OM-DE-M5 M. スイコーデジタル 12-50ミリ



数楽パズル

タテ9列、ヨコ9列のどの列にも、1～9の数字がひとつずつ入ります。同時に太い線で囲まれた9マスの、どのブロックにも、1～9の数字がひとつずつ入ります。最後に問1のAと問2のBをプラスしてください。その数字が答えです。

問1			5				1	
	8			2	6	5		7
6	2			7	3	9		
	9	7		5	4			1
5		2				3	7	
								8
8	7		4	6	9		2	
		4			7	6		3
問2	1	2		9		8		4
			6	4	1			6
				5	2		8	1
2	8						7	9
3	5						6	1
	4	7				2	5	
	1		3	6	5			
	3	4	8	1				
8					4	1	2	3

A+B= ?

ポケット

土地の名物やB級グルメも堪能

JR徳島駅近くのポッポ街商店街にありました。週末1日しか出さず、人気で午前中売り切れという食事です。金時豆を除けば、普通のちらし寿司ですが、酢飯の酸味と、金時豆の甘みが妙に相性がいいのです。

土佐のカツオは各宿(家)での作り方があり、いろいろな味を堪能してきました。讃岐うどんは、第八十五番札所・八栗寺の登山道入口に、旧家を利用した立派な構えの店(東京ソラマチにも出店)で味わいました。

歩き旅ならずとも、その土地ならではの食べ物に出会うことは、大いに楽しみます。名物探しではなくて、道々、出会うのはうれしいことです。その1、2を紹介しましょう。その土地では普通に食べられているが、他の地域では馴染みのない「食材や料理」を紹介するバラエティー番組で、「徳島のちらし寿司には金時豆が入っている」というのがありました。そして早速、看板を見かけました。

ラーメンには馴染みがない竹輪が必需品で、そのほか、鶏肉やネギ、生卵が入り、アツアツが出されます。須崎鍋焼きラーメンを名乗るには、7つ定義のクリアが必要といえます。



徳島ラーメンも試してみました。基本的にご飯のおかずとして食べるのが、ご当地風なのだそうです。ラーメンでは、第三十七番札所・岩本寺への途中にある須崎市(高知県)で、「須崎鍋焼きラーメン」も楽しみました。戦後間もないころ、出前が冷めないように、との思いやりから生まれたものです。

ご当地ラーメンとして定着し、10年前ごろからB級グルメとして積極的にPRが始まり、ラーメン店だけでなく、居酒屋や喫茶店などでも出しています。

官製はがきに、①答え②あなたの住所・郵便番号③会社名④氏名⑤年齢⑥本紙へのご意見・ご要望を明記し、お送りください。正解者の中から抽選で3名様に図書カード(1,000円分)をプレゼント。

●宛先=〒160-0004 新宿区四谷3-1-8 (一社)東京都トラック協会 広報部「トラック時報」係
●締め切り=11月末日(正解は12月10日号に掲載)

☆インターネットでご応募も可能です。
http://www.totokyo.or.jp/
☆インターネット応募の場合、解答フォームをご利用ください。東ト協HPトップ「会員の方へ」をクリックし、次ページの「トラック時報パズル&クイズに応募」へ。

★10月10日号「二字熟語のしりとりにパズル」の正解は「家庭」でした。

わが国の「年号」は、飛鳥・奈良時代の「大化」が始まりで、今日の「平成」は247番目に当たる。それぞれには由来がある。平成の時は、当時の小淵官房長官がテレビでボードを示し、「平成」と読み上げたことがいまだに印象に残る。◆小欄で「年号」を話題するのは、「文藝春秋」に演出家の鴨下信一氏が「昭和の」とば、「というコラムを連載しているが、10月号は「年号」であったことによる。昭和という年号は、思い出深い時代であり、主として昭和を生き抜いてきた世代は、ことのほか昭和に愛着があつて、捨てきれない。◆鴨下氏のコラムで「昭和」という年号で思い出すのは、戦争という大事件を挟んで、その前後では大変な違いがあったこと。年号の扱いにも変化が出てきた。鴨下氏によれば、戦前は、昭和15年に皇紀2600年を迎え、わが国の歴史の長さを讃えた。戦後は、昭和45年の万国博で西暦が公に通用し始めた。昭和の曲がり角であった、と指摘している。◆最近、西暦が横行し、過去の時代を思い出せないものどかしさがあるのは否めない。やはり、それは時代遅れか。